

後 期 日 程

令和6年度入学試験問題（後期日程）

問 題 解 決 ・ 提 案 力 テ ス ト

芸術地域デザイン学部
芸術地域デザイン学科
地域デザインコース

－ 解 答 上 の 注 意 事 項 －

- 1 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
- 2 受験票、筆記用具[鉛筆(シャープペンシル、赤鉛筆を含む)、消しゴム、鉛筆削り、コンパス、小型三角定規、直線定規]、眼鏡及び時計以外の物は、机に出してはならない。
- 3 配付物は以下の6点である。問題冊子1部、別添資料1部（A3サイズ3枚）、解答用紙2枚(原稿用紙1枚、プレゼンテーション資料作成用紙1枚)、下書き用紙1枚（A3用紙）、黒ペン1本、赤ペン1本。
- 4 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。別添資料は回収する。

問題

今から90年余り前、一大観光ブームが起こり、日本全国各地で鳥瞰図を取り入れたわかりやすい観光案内が競い合うように制作されました。

当時大人気となった鳥瞰図の最大の特徴は、「吉田初三郎式」と呼ばれた極端なデフォルメで、大胆な構図と鮮やかな配色による豊かな表現により、詳細な情報が盛り込まれていることだといわれます。

別添資料は、「大正の広重」と呼ばれた鳥瞰図絵師・吉田初三郎が生涯に1600点以上描いたうちのひとつ、唐津を描いた鳥瞰図と唐津観光協会の観光案内の一部分です。

この別添資料を参考にして、初三郎から90年後の今日のあなたなら、どのような観光案内を作成、提案しますか。

コロナ禍を乗り越えつつある現在の観光・地域振興の現況、解決すべき課題、発信すべき魅力などを、あなたの身近な体験・関心にひきつけて、800字程度で具体的に説明提案してください。

また、「令和の広重」としてあなたの身近なふるさと、まちを国内外にアピールするための観光案内を作成してください。プレゼンテーション資料作成用紙に、絵や文字などを使って表現すること。絵の巧拙は問いません。用紙のタイトル欄に、あなたのつけたタイトル、たとえば「〇〇〇観光案内」などを明記すること。

出典：吉田初三郎図、田坂昇編輯『唐津』、唐津観光協会、1933年（国際日本文化研究センター所蔵）

別添資料



